

厚生年金番号 かんたん解説ガイド



※チェックリストに従うことで、法令違反がないことを保証する資料ではありません。
※あくまで参考としてご利用いただくことを想定している資料です。実際の制度内容は国の資料等をご確認ください。
※当資料は、2025年5月時点の内容となっております。最新の情報はの資料等をご確認ください。

基礎年金番号とは

1997年1月に導入され、それまでの厚生年金番号や国民年金番号などを統合した、個人の年金記録を一元的に管理するための番号です。基礎年金番号は、これら全ての公的年金制度で共通して使われる10桁（4桁+6桁）の数字で、生涯変わることはありません。



マイナンバーとの違い

基礎年金番号とマイナンバー（個人番号）は、目的と利用範囲が異なります。

基礎年金番号	公的年金制度（国民年金、厚生年金等）の加入記録や給付管理に特化して使用される番号です。
マイナンバー	日本国内に住民票を有するすべての人（外国人含む）に付番され、社会保障、税、災害対策の3分野にわたる行政手続きにおいて、効率的な情報連携と個人識別を目的とする12桁の番号です。

近年、年金に関する申請や届出、相談においてマイナンバーの利用が可能となり、マイナンバーカードの提示で手続きができたり、一部の添付書類が省略できたりする場面が増えています。ただし、基礎年金番号が不要になったわけではなく、年金記録管理の基礎となる番号として引き続き利用されています。

基礎年金番号の確認方法

■ 主な書類

基礎年金番号通知書	2022年4月1日以降に初めて年金制度に加入した方、または同日以降に年金手帳の再発行を申請した方に交付されます。
年金手帳（青色）	1997年1月から2022年3月までに年金制度に加入した方に交付されました。2022年4月以降、年金手帳の新規発行・再発行は行われませんが、既にお持ちの年金手帳は基礎年金番号を確認する書類として引き続き有効です。

年金証書	年金を受給されている方に交付される証書です。
各種通知書	日本年金機構から送付される「ねんきん定期便」、年金額改定通知書、年金振込通知書など。
国民年金保険料関連書類	国民年金保険料の納付書、領収書、口座振替額通知書など。

■ オンラインサービス

ねんきんネット	日本年金機構のウェブサイトからログインすると、トップページ等で確認できます。
マイナポータル	マイナンバーカードを利用してログインし、「わたしの情報」から年金関連情報を取得することで確認できます。

■ その他の方法

勤務先への照会	厚生年金保険に加入している会社員の方は、勤務先の総務・人事・経理等の担当部署で確認できる場合があります。
年金事務所の窓口	近くの年金事務所の窓口で、本人確認書類を提示して照会することができます。電話での番号照会は原則行われません。